

豊田市拳母小学校のビオトープ「ネイチャーワールド・みんなのころも川」が、NPO法人・日本ビオトープ協会（東京）の第四回顕彰で学校ビオトープ大賞に選ばれた。

二〇〇一年に完成した「みんなのころも川」は広さ一千平方メートルに市内に自生する植物十数種類が植えられ、矢作川の水を引いた全長九十メートルの小川が流れる。休み時間には遊び場となり、植物や鳥の観察、スケッチなどで授業にも活用している。

審査では矢作川流域の生態系がビオトープ内に完成していることや、十年にわたって児童や職員、地域の人々の努力で維持管理されてきたことが高評価となった。全国八ブロックの協会員が推薦した学校から満場一致で大賞に決まり、八日に盛岡市で開かれたフォーラムで表彰された。

外来種駆除などに取り組む生物部の部長で六年生の勝部享介君は「いろいろな生き物がいて、観察しやすいところが好き」と話す。石川みつ子校長は「学校に誇れる場所があるのは子どもにとって幸せなこと」と受賞を喜んだ。

（川原田喜子）

ビオトープの滝に集まる子どもたち = 豊田市平芝町の拳母小で

